



令和8年(2026年)8月25日
豊中市立桜井谷小学校
学校だより No.8
校長 渡部 潤也

2学期が始まりました！



まだまだ暑い日が続いていますが、2学期が始まりました。

夏休みの間、子どもたちは元気に過ごすことができたでしょうか。学校には、久しぶりに子どもたちの明るい笑顔と元気な声が戻ってきました。

2学期の始まりにあたり、始業式で本校の学校教育目標についてみんなと確認しました。

本校の学校教育目標は、

「子どもが輝き 進んで学び とともに生きる みんなの学校」
です。

私は、この目標には「進んで学び、ともに生きることを通して、子ども一人ひとりが輝く。そして、そのような学校をみんなで作っていかう」という願いが込められていると考えています。学校をつくるのは教職員だけではありません。子どもたち自身が主体となり、一人ひとりが学校づくりの担い手です。さらに、保護者の皆様や地域の皆様とも力を合わせながら、「みんなの学校」を実現していきたいと思えます。

「進んで学び」には、失敗や間違いを恐れず、何度でも挑戦してほしいという願いがあります。新しいことにチャレンジするときには、うまくいかないこともあります。しかし、そこであきらめず、粘り強く取り組むことが大切です。その積み重ねが、子どもたちの成長につながります。

そして、「ともに生きる」とは、周りの人を大切にし、互いに支え合うことです。頑張っている友達を応援したり、困っている友達に声をかけたりすることもそ

の一つです。また、気持ちのよいあいさつは、人と人をつなぐ大切な第一歩です。明るく元気なあいさつがあふれる学校にしていきたいと思います。

2 学期は、運動会や学年発表会の取り組みなど、多くの行事や学びの場があります。一人ひとりが挑戦し、互いを認め合いながら成長できる学期となるよう、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。子どもたちがよい人間関係を育み、一つ一つの学びや行事の中で達成感を積み重ねながら、さらに輝けるよう、教職員一同力を合わせて支えてまいります。保護者や地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

7月の全校朝会で話したのですが、私は家でアカハライモリを飼っています。

飼い始めたのは、息子が幼稚園に通っていた 12 年前です。オスとメスの 2 匹から飼い始め、その後 2 回にわたってそれぞれ約 200 匹の赤ちゃんが生まれました。現在は 11 匹のアカハライモリが元気に暮らしています。

アカハライモリは卵から生まれます。卵からかえった赤ちゃんは小さな魚のようなウーパールーパーのような姿で、水の中で小さなエビを食べて育ちます。少し大きくなると、今度は小さな恐竜のような姿になり、水を嫌って陸上で生活するようになります。この時期にはアカムシを一匹ずつ食べさせなければならず、とても手がかかります。

しかし、2 年ほどたつと再び水の中で過ごせるようになり、大人になるとほとんどを水中で生活します。そうすると、週に 1 回ほどの水替えとエサやりでよく、とても飼いやすくなります。

アカハライモリには、もう一つすごい特徴があります。病気で傷んだしっぽを自分で切り落として再生させたり、けんかで失った手足を再び生やしたりすることができるのです。このことから医療への応用の研究が進んでいます。



アカハライモリを育てていると、命が成長するまでには時間と手間がかかること、そして生き物には困難を乗り越えて回復する力があることを教えてくれます。私たちも、すぐに結果が出なくてもあきらめずに成長を続け、失敗や困難があっても前を向いて頑張っていきたいです。